



▲町図書館に置いていない新しい本に出会えるかも。ぜひご利用ください。

**新しい本に出会えるかも
県立図書館配本コーナーの紹介**

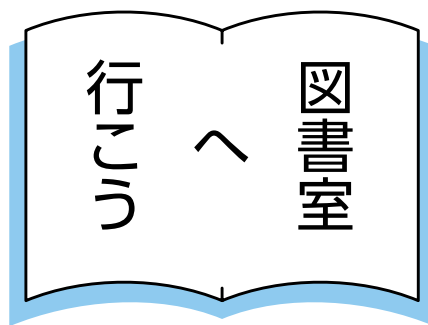
町生涯学習センター図書室は、熊本県立図書館の「配本協力図書」を利用してあります。一般書100冊、絵本100冊、合計200冊を借り受け、貸し出しています。1セット50冊で4箱分の図書は年に2回入れ替わるので、箱を開けるたびに「今

布の絵本のご紹介

町図書館内にある「おはなしのへや」には、手づくりの布の絵本が63冊あります。これはすべて、手芸の会「チクチク会」の皆さんがひとつひとつ丁寧に縫い上げられた、素晴らしい作品です。平成26年4月から寄贈していただき、たくさんの子どもたちに喜んでもらっています。

町図書館に来館された際には、ぜひ、ご覧ください。

度はどんな本が届いたのだろう」と職員もワクワクしながら配架作業をしています。図書室に所蔵していない本も多数あって、思わず手を止めてしまうことも…。図書室入口の右側にコーナーがあります。ぜひご利用ください。



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



新着図書紹介

小説

ファイア・ドーム 上・下 辻村 深月 著/小学館



25年前、平穏だったはずの地方都市は、百貨店受付嬢誘拐殺人事件の発生、その報道により揺り動かされ「噂」という大量の炎が加害者のみならず被害者にも降り注ぎ、燃え盛った…。物語に引き込まれ、上下巻一気読み必須の一冊です。



星月夜 藩邸差配役日日控 砂原 浩太郎 著/文藝春秋

神宮寺藩江戸藩邸で、面倒事を整える差配役を務めている里村五郎兵衛。さまざまな騒動が持ち込まれるなか、家族が巻き込まれた収賄事件の真相が明らかに…。差配役シリーズ第二弾。淡々と描かれる情景が味わい深い一冊です。



タイム・アフター・タイム 吉田 修一 著/幻冬舎

建設会社に勤める尾崎颯。同じプロジェクトの担当者として高校の同級生の久遠愛と再会するが、思わぬことで計画は暗転。揺れ始める心はやがて、20年前の夏へと引き戻される…。『国宝』の著者、待望の最新作。心揺さぶる一冊です。

児童書

なにかいいことあった？

ミーシャ・アーチャー 作 石津 ちひろ 訳 / BL 出版
「なにかいいことあったかい？」おじいちゃんからそうたずねられたダニエルは、いいことをさがしに公園をめぐる…。油絵やコラージュを使った色彩豊かな絵本。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学生低学年の課題図書です。



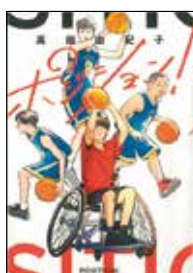
おいしいお米をつくりたい！ 谷本 雄治 著/汐文社

小学生で農家に弟子入りし、米作りを始めたゆうちゃん。害虫や台風をのりこえ目標の300kgを収穫できるのか？ゆうちゃんの挑戦と地域の人々との交流を描く。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学生中学年の課題図書です。



ポジション！ 高田 由紀子 作 丹地 陽子 絵/岩崎書店

スポーツは苦手なのに、人数合わせでミニバスケットチームに誘われた芽吹。チームに入ってすぐ自信喪失するが、車いすバスケットで努力するルイの姿に勇気をもらい…。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学生高学年の課題図書です。



7月25日（土）、町生涯学習センター・ホールで「第30回新甲佐町史歴史研修会」が開催されました。

同研修会は、平成25年刊行の『新甲佐町史』を用いて、本町の今と昔を考え、成り立ちを追うことを目的に町教育委員会が主催するもの。今回は、宇土市教育委員会の大浪和弥さんを講師にお迎えして「豊臣秀吉と二人の家臣～小西行長と加藤清正～」と題した講演会に、町内外から約70人が参加しました。

研修会では、講師の大浪さんがこれまで調査研究されてきた多くの古文書（戦国時代から江戸時代の加藤清正文書など）から明らかになった、豊臣秀吉と小西行長、加藤清正の実像についてお話しいただきました。

中でも、勇猛果敢（ゆうもうかかん）なイメージの強い加藤清正ですが、肥後入国以前は槍働き（やりばたらき）よりも陸上輸送といった兵站（へいたん）任務を多くこなしており、小西行長とともに秀吉の戦において兵站を担う将校として活躍していたとのこと。

また、秀吉・行長・清正の花押（かおう）から読み解く3人の性格の考察など、私たちが抱いていた武将像が覆るような最新の研究成果が語られました。

参加者からは「小西行長と加藤清正の比較がおもしろかった」「小西行長について、これまで以上に理解が深まった」「戦国時代がますます楽しくなった」などの感想が寄せられ、多くの方が熊本に縁（ゆかり）のある武将への理解を深める有意義な時間となりました。



新甲佐町史研修会で講師の大浪さんの説明を熱心に聞く参加者たち

お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447（内線327）

人権 ～心豊かに暮らすために～

女性の人権

『「当たり前」をちょっと見直してみませんか』

● 心の中の『当たり前』にとらわれていませんか

私たちは今、性別に関係なく、誰もが自分らしく生きられる社会を目指しています。でも現実にはまだまだ「男女の格差」が残っていると感じることはありません。

例えば、昔からの習慣や習わしの中に「女性はこうあるべき」といった考えが残っていることがあります。こうした考えは、長い歴史の中でつくられてきた「男性を中心とした社会のルール」が強く影響してきたものかもしれません。しかし、男女は平等であるという現代の感覚で見ると、少し無理があると思うことも少なくありません。

家庭の中でも、似たような空気が残っています。男性が育児や家事をする「イクメン、すごいね」と褒められるのに、女性が同じことをしても「やって当たり前」と思われがちです。家事や育児は、家族みんなが快適に暮らすための大切な役割です。どちらか

が「手伝い」、どちらかが「義務」と決めつけてしまうのは、少し窮屈ではないでしょうか。

● 思い込みを見直しみんなが幸せに過ごせる未来を目指そう

「女性だから」「男性だから」というだけで、役割を決めつけてしまうことは、実はとても大切な個人の尊厳にかかわる問題です。私たちが何気なく口にしたり、心の中で思ったりしている『当たり前』を、一度立ち止まって見つめ直してみませんか。

家事も育児も、家族みんなの共通の役割です。性別にとらわれず、お互いを尊重し、支え合えるパートナーになること、そしてお互いに感謝を伝え合うこと。それが、誰もが笑顔でいられる社会への第一歩です。古い思い込みを少しずつ手放して、もっと心地よい明日を一緒に考えていきましょう。

● お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎ 096-234-2447